

事務事業評価シート【兼実施計画調書・地方創生事業調書】

事業コード	事業名	担当課:	地域づくり推進	担当係:	政策推進
H27先行型1	石川町総合戦略策定事業	地方創生事業			

計画 (PLAN)	基本目標	-				
	施策	-				
	主要施策	-				
	実施主体	石川町				
	実施期間	H27~H31				
	事業目的・概要	地域資源を効果的に活用しながら地域産業の振興、並びに定住・移住の促進を図り、「人と資本」の流出の抑制と流入を促すことを目的とした「石川町総合戦略」を策定するために必要な専門的な調査等を実施する。				
地方創生事業	基本目標	-				
	基本目標の数値目標	-				
	当該事業の数値目標(KPI)	-				
	①自立性	②将来性	③地域性	④直接性	⑤結果重視	
	○					

実施 (DO)	事業内容 (実績)	<p><b>【策定経過】</b></p> <p>(1)アンケート調査 ◆調査対象者:1,500人 ◆調査期間:平成27年7月8日~21日 ◆抽出方法:15歳以上40歳未満の町民 ◆回収率(率):466名(31.1%)</p> <p>(2)有識者会議(12名で構成)全5回(策定方針、人口ビジョン、総合戦略の策定)</p> <p>(3)議会説明全9回</p> <p>(4)商工会との意見交換</p> <p>(5)町民の意見公募(パブリックコメント:素案、原案)</p> <p>有識者会議開催経費:549,924(謝礼5回分、会議時食糧費、消耗品費)</p> <p>人口ビジョン及び総合戦略策定に係る町民意見の聴取及びPR経費:699,840(広告料、概要版印刷費)</p> <p>総合戦略策定業務委託:6,998,400(作成業務委託料)</p>

評価 (CHECK)・改善 (ACT)	貢献度	行政関与	住民ニーズ	長期計画	貢献度評価	総合評価	維持継続		
		4 積極的に関与すべき	4 非常に求められている	4 大変効果的	高い				
	効率性	手段	コスト・効率化	受益者負担	効率性評価				
		4 最適な手法である	4 最も効果的である	4 適切である	良い				
	改善	課題	・石川町第5次総合計画、まちなか再生行動計画、石川町住まいづくりプランとの整合性を図り、着実な推進を図る。						
		方策	・総合戦略基本目標に掲げた事業に対し、事業実績、KPI実績数値等を基に、取組事業の問題点、課題を整理していく。 ・有識者会議での事務事業検証に基づき内容の見直し、改善に向けた方策検討を行い、確実な進行管理を行っていく。						
地方創生事業 数値目標・実績	項目名	-	H27	H28	H29	H30	H31	達成予測	
地方創生事業 有識者意見		・引き続き計画実現に向け引き続き進められたい。							

次期計画【実施計画調書・地方創生事業調書】	事業内容 (予定)								
	年度	H26	H27	H28	H29	H30	合計(H28~H30)	補助金名	
	事業費		8,248						
	財源内訳	国支出金		8,248					補助率・充当率
		県支出金							国
		地方債							県
		その他							町
一般財源							その他		

事務事業評価シート【兼実施計画調書・地方創生事業調書】

事業コード	事業名	担当課:	地域づくり推進	担当係:	政策推進
H27先行型2	がんばる企業応援事業	地方創生事業			

計画 (PLAN)	基本目標	1. にぎわいと活気のあるまち(産業)	地方創生事業	基本目標	1. 石川町で安定した雇用をつくる			
	施策	(3)企業の振興		基本目標の 数値目標	従業者数6,300人			
	主要施策			当該事業の 数値目標 (KPI)	出展各社新規商談件数15件			
	実施主体	石川町		①自立性	②将来性	③地域性	④直接性	⑤結果重視
	実施期間	H27~H31		○				
	事業目的・概要	町内に立地する関連業種の企業群と町が連携を図り、地域産業としてのサプライチェーンや人材確保の優位性を全国に発信し、中小零細企業の課題である販路開拓、販売促進を支援することで、新たな雇用の創出を図る。						

実施 (DO)	事業内容 (実績)	<p>【エコプロダクツ2015への協同出展】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>出展企業:(株)ナショナルマリンプラスチック、日創プロニティ(株)、(有)仲田種苗園</li> <li>開催日、会場:平成27年12月10日~12日 東京ビックサイト</li> <li>出展規模:702社・団体</li> <li>来場者数:169,118人(3日間)</li> <li>3社共同のエコプロダクツ2015出展経費 4,469,319(PRブース製作、出展料)</li> </ul> <p>【KPI実績:出展各社新規商談件数:7件/1社】</p>
------------	--------------	---

評価 (CHECK)・改善 (ACT)	貢献度	行政関与	住民ニーズ	長期計画	貢献度評価	総合評価	維持継続	
		4 積極的に関与すべき	4 非常に求められている	4 大変効果的	高い			
	効率性	手段	コスト・効率化	受益者負担	効率性評価			
		3 適当な手法である	3 概ね効果的である	3 概ね適切である	やや良い			
	改善	課題	<p>・町内3社の企業がコンセプトを共有して合同で出展できたことは評価できるが、販路開拓にまでは至らなかったの で、いかに目的を達成させられるかが課題。展示会の開催趣旨も考慮する必要がある。 ・展示会への出展を促すことに加え、積極的なPRIに必要な支援があわせて必要である。</p>					
	方策	<p>・町内中小企業向けの支援策の検討(展示会出展に向けたパンフレット、ホームページの製作等営業ツールの整備支援等)</p>						
地方創生事業 数値目標・実績	項目名	従業者数6,300人	H27	H28	H29	H30	H31	達成予測
地方創生事業 有識者意見	<p>・展示会で他社の企業を見ることにより自社の事業展開に繋がる可能性もある。視察研修なども支援メニューに取り入れてはどうか。 ・銀行としても、有益な情報を自治体及び企業に提供しながら連携していきたい。 ・引き続き事業推進について努力されたい。</p>							

次期計画【実施計画調書・地方創生事業調書】	事業内容 (予定)								
	年度	H26	H27	H28	H29	H30	合計(H28~H30)	補助金名	
	事業費		4,469						
	財源内訳	国支出金		4,469					補助率・充当率
		県支出金							国
		地方債							県
		その他							町
一般財源							その他		

事務事業評価シート【兼実施計画調書・地方創生事業調書】

事業コード	事業名	担当課:	地域づくり推進	担当係:	政策推進
H27先行型3	廃校利活用事業	地方創生事業			

計画 (PLAN)	基本目標	1. にぎわいと活気のあるまち 5. とともに力を合わせてつくるまち	地方 創生 事業	基本目標	2. 石川町への新しいひとの流れをつくり、定住を促す			
	施策	(3)企業の振興まちづくり		基本目標の 数値目標	転出超過数172人			
	主要施策			当該事業の 数値目標 (KPI)	企業との交渉件数5社			
	実施主体	石川町		①自立性	②将来性	③地域性	④直接性	⑤結果重視
	実施期間	H27~H31		○	○	○		○
	事業目的・概要	小中学校の統合に伴い発生する廃校を地域資源と捉え、民間活力による地域産業振興のモデルとなる地域ビジネスの拠点化を図る。						

実施 (DO)	事業内容 (実績)	<p>【廃校の建物現況調査及び廃校利活用意向調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7つの廃校の建物現況を調査。</li> <li>・建物現況をパンフレットにまとめ、常陽銀行(経済研究所)、松下設計(株)に委託し、北関東、南東北の2,000社に対し、アンケート形式での利活用の意向調査を実施。</li> <li>・関心を示した企業への企業訪問を実施。</li> </ul> <p>調査委託経費: 2,324,880 【KPI実績: 企業との交渉件数: 9件】</p>
------------	--------------	---

評価 (CHECK)・改善 (ACT)	貢献度	行政関与	住民ニーズ	長期計画	貢献度評価	総合 評価	見直改善
	効率性	4 積極的に関与すべき	4 非常に求められている	3 貢献している	高い		
		手段	コスト・効率化	受益者負担	効率性評価		
	改善	2 検討する必要がある	3 概ね効果的である	4 適切である	やや良い		
		課題	「廃校施設の利活用に関する基本方針」に基づき、地域要望等の整理を図りながら、企業等の外部資本投下の可能性を模索する必要があるが、対象とする業種、業態について検討の余地がある。				
	地方創生事業 数値目標・実績	方策	平成27年度の調査結果を基に継続した企業への接触を図ると共に、メディアコンテンツ産業等、対象業種業態を拡大し、情報発信を図りながら、有利な利活用の可能性を高める。				
項目名		転出超過数172人	H27	H28	H29	H30	H31
地方創生事業 有識者意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域において建屋全部を使いたいという人はいないと思う。町民の声を聞いて、一部を使わせることが利活用に繋がると思う。</li> <li>・廃校をホテルとして活用している事例もある。・廃校利活用情報の発信方法について検討が必要。</li> <li>・防災、災害時避難施設としてなど活用方法はある。</li> </ul>						

次期計画 【実施計画調書・地方創生事業調書】	事業内容 (予定)								
	年度	H26	H27	H28	H29	H30	合計(H28~H30)	補助金名	
	事業費		2,325						
	財源内訳	国支出金		2,325					補助率・充当率
		県支出金							国
		地方債							県
		その他							町
一般財源							その他		

事務事業評価シート【兼実施計画調書・地方創生事業調書】

事業コード	事業名	担当課:	地域づくり推進	担当係:	まちなか再生
H27先行型4	まちなかプレイスメイキング事業	地方創生事業			

計画 (PLAN)	基本目標	1. にぎわいと活気のあるまち 5. とともに力を合わせてつくるまち	地方 創生 事業	基本目標	4. 協働のまちづくり			
	施策	(3)企業の振興 まちづくり		基本目標の 数値目標	小さな拠点形成数8拠点			
	主要施策			当該事業の 数値目標 (KPI)	①まちなか通行量10%増加 ②高校生ワークショップ参加者280名			
	実施主体	石川町		①自立性	②将来性	③地域性	④直接性	⑤結果重視
	実施期間	H27~H31		○	○	○	○	○
	事業目的・概要	まちなか再生を進めるうえで、まちなかに点在する空き地や空き店舗等の既存ストックの有効活用が重要になってくる。そこで、専門家へのデザイン依頼や高校生のワークショップ等を行い、マネジメント強化を図り、集い場、イベントスペース、物販等様々な用途で利用できる活性化の拠点となる交流館及び交流スペースを設置しまちなか活性化を推進する。						

実施 (DO)	事業内容 (実績)	<p>【まちなかプレイスメイキング事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちなかの賑わいを創出するため、高校生によるワークショップ及びフィールドワークを行い、街中の交流スペースの整備、検討を行った。</li> <li>①空き地・空き店舗等の空間デザインの調査委託</li> <li>②高校生によるワークショップの開催</li> <li>③まちなか拠点の整備(芝生、各種イベントへの共催:おもてなし事業)</li> </ul> <p>業務委託料 3,855,500 事務経費 29,800</p> <p>【KPI実績:まちなか通行量2.4%増加】 【KPI実績:高校生ワークショップ参加者:200名】</p>
------------	--------------	--

評価 (CHECK)・改善 (ACT)	貢献度	行政関与	住民ニーズ	長期計画	貢献度評価	総合 評価	維持継続	
		3 関与すべき	3 求められている	4 大変効果的	高い			
	効率性	手段	コスト・効率化	受益者負担	効率性評価			
		3 適当な手法である	3 概ね効果的である	3 概ね適切である	やや良い			
	改善	課題	現在、鈴木重謙屋敷跡地での高校生によるイベント活動が中心となっているが、地元住民のほか、世代、地域を超えた人の集いを誘発する仕組みが今後の課題である。					
	方策	本年度発足した商工会の特別委員会「まちなか再生推進委員会」との連携による活動対象者の拡大をはかる。また、ふるさと教育の視点から、高校生だけでなく小中学校との連携を図る。						
地方創生事業 数値目標・実績	項目名	小さな拠点形成数8拠点	H27	H28	H29	H30	H31	達成予測
地方創生事業 有識者意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生と協働による作業は評価できる。芝生の管理等高校生にやらせてみては。</li> <li>・循環バスの運行ルートについてまちなかを通るルートを検討しては。</li> <li>・他市町村の事業を参考にして活性化を図っては。(須賀川市の路地deマーケット等)</li> </ul>							

次期計画 【実施計画調書・地方創生事業調書】	事業内容 (予定)								
	年度	H26	H27	H28	H29	H30	合計(H28~H30)	補助金名	
	事業費		3,885						
	財源内訳	国支出金		3,885					補助率・充当率
		県支出金							国
		地方債							県
		その他							町
一般財源							その他		

事務事業評価シート【兼実施計画調書・地方創生事業調書】

事業コード	事業名	担当課:	地域づくり推進	担当係:	まちなか再生
H27先行型5	若者移住促進事業	地方創生事業			

計画 (PLAN)	基本目標	2. 健やかで人にやさしいまち	地方 創生 事業	基本目標	2. 石川町への新しいひとの流れをつくり、定住を促す			
	施策	子育て夢プロジェクト		基本目標の 数値目標	転出超過数172人			
	主要施策			当該事業の 数値目標 (KPI)	①移住希望者相談件数10人 ②ツアー参加者数10人			
	実施主体	石川町		①自立性	②将来性	③地域性	④直接性	⑤結果重視
	実施期間	H27~H31		○	○	○	○	○
	事業目的・概要	石川町は、豊かな自然をはじめ、多くの魅力がありながら、知名度不足により、特に若者の人口減少が懸念されている。そこで、今後本町にて子供を産み育てる若者にターゲットを絞った移住希望者や転職希望者へのPRを行い、就職支援や生活支援を行いながら、首都圏からの移住促進を図る。						

実施 (DO)	事業内容 (実績)	<p>【「移住×転職」セミナー開催経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「転職及び就職を機に移住を」というコンセプトで開催。2,993,530</li> <li>◆8月29日(土) ふるさと回帰支援センター (株)マイナビのPRツールを活用し都内でセミナーを実施</li> <li>◆3月23日(水) 東京交通会館 雑誌「TURNS」でのPR及びTURNSカフェの開催を(株)第一プロGRESSに委託</li> </ul> <p>【「移住×結婚」ツアー開催経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「結婚を機に移住を」というコンセプトで、都内の未婚の女性を対象にツアーを企画し、町内で開催される「婚活イベント」への参加を実施(第1回八幡屋8月29日~30日、第2回松多屋2月6日~7日) 534,030</li> </ul> <p>【KPI実績: 移住希望者相談件数32人】</p> <p>【KPI実績: ツアー参加者数: 16人】</p>
------------	--------------	--

評価 (CHECK)・改善 (ACT)	貢献度	行政関与	住民ニーズ	長期計画	貢献度評価	総合 評価	見直改善	
		4 積極的に関与すべき	3 求められている	3 貢献している	高い			
	効率性	手段	コスト・効率化	受益者負担	効率性評価			
		2 検討する必要がある	3 概ね効果的である	3 概ね適切である	やや良い			
	改善	課題	移住定住については、HP、雑誌、メールマガジンなど、民間の情報発信ツールを利用し、広い年代層に対してではなくターゲットを絞った情報発信を進めてきたところである。今後はそのような人たちが実際移住する際の町の対応(優遇措置等)の整理が課題となる。					
	方策	田舎で、起業を考える大学生等をターゲットに移住定住事業を実施する。その際に町と商工会が行っている創業支援事業等と連携し、あわせて起業環境の整備等、相談者に対して細やかな対応を図る。						
地方創生事業 数値目標・実績	項目名	転出超過数172人	H27	H28	H29	H30	H31	達成予測
地方創生事業 有識者意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石川町は決して住みづらい地域ではないので、住みたいと思えるような環境づくりをしていくことを望む。</li> <li>・婚活イベントの方法について更なる工夫を検討しては。</li> <li>・引き続き事業推進について努力されたい。</li> </ul>							

次期計画 【実施計画調書・地方創生事業調書】	事業内容 (予定)								
	年度	H26	H27	H28	H29	H30	合計(H28~H30)	補助金名	
	事業費		3,527						
	財源内訳	国支出金		3,527					補助率・充当率
		県支出金							国
		地方債							県
		その他							町
一般財源							その他		

事務事業評価シート【兼実施計画調書・地方創生事業調書】

事業コード	事業名	担当課:	地域づくり推進	担当係:	まちづくり推進
H27先行型6	地域資源を活用した観光振興事業	地方創生事業			

計画 (PLAN)	基本目標	さくらの郷づくりプロジェクト	地方創生事業	基本目標	1. 石川町で安定した雇用をつくる				
	施策			基本目標の 数値目標	従業者数6,300人				
	主要施策			当該事業の 数値目標 (KPI)	①観桜客数の10%増加 ②樹勢回復本数 10本				
	実施主体	石川町		①自立性	②将来性	③地域性	④直接性	⑤結果重視	
	実施期間	H27~H31		○	○	○	○	○	
	事業目的・概要	石川町の桜は江戸時代より「桜谷」と呼ばれるほどの素晴らしい地域資源でありながら、PR不足により観桜客の増加に伸び悩んでいるそこで、大切な地域資源を公民一丸となって守り、その魅力を積極的に発信していくことで、広く観桜客を呼び込み、地域の経済を潤し、ひいては住民にとって誇りと愛着の持てる、活気にあふれた地域を築いていくことを目的とする。							

実施 (DO)	事業内容 (実績)	<p>【桜石川ブランド化事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>産学官連携で組織している「石川桜まつり実行委員会」へ石川桜まつり開催経費としての補助を実施。</li> </ul> <p>【新聞広告掲載及びweb掲載経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>近年のPR不足を解消するため、地方紙2紙へカラー広告、関東方面白黒広告の掲載とあわせてwebページを刷新。</li> </ul> <p>【いしかわ桜谷献立開発経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちの町の誇りの醸成のため、一番の観光資源である「いしかわ桜谷」をイメージし思い出に残るような給食を実施するため、以前より目地と交流のある都内の調理師専門学校とタイアップの上、給食の献立を開発した。</li> </ul> <p>【桜樹勢回復経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>桜の樹勢回復診断を委託、あわせて回復事業の実施を行った。</li> </ul> <p>【KPI実績: 観桜客数: 17.6%増加】</p> <p>【KPI実績: 樹勢回復本数: 3本】</p>
------------	--------------	---

評価 (CHECK)・改善 (ACT)	貢献度	行政関与	住民ニーズ	長期計画	貢献度評価	総合評価	見直改善	
		3 関与すべき	3 求められている	4 大変効果的	高い			
	効率性	手段	コスト・効率化	受益者負担	効率性評価			
		2 検討する必要がある	2 改善できる余地がある	3 概ね適切である	やや良い			
	改善	課題	新聞広告等メディアを活用しての観光PR推進は、桜の町としての認知度が低かった当地域でも効果が大きかったが、一年を通じた観光戦略を検討する必要がある。					
		方策	町の観光基盤として周知を図っていくこととあわせて、観光媒体を活用する上でのターゲットの絞込みを検討。 公共交通機関を補助する代替手段の検討、交通案内情報の充実を図る。 通年で訪れることができる観光素材の掘り起しと磨き上げ。					
地方創生事業 数値目標・実績	項目名	従業者数6,300人	H27	H28	H29	H30	H31	達成予測
地方創生事業 有識者意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光客に対する印象付けが重要である。</li> <li>年間を通じた観光プログラムを作る必要がある。</li> <li>桜まつりについて、マンネリ感が出てきているので新たな事業展開を望む。</li> <li>引き続き事業推進について努力されたい。</li> </ul>							

次期計画【実施計画調書・地方創生事業調書】	事業内容 (予定)								
	年度	H26	H27	H28	H29	H30	合計(H28~H30)	補助金名	
	事業費		9,036						
	財源内訳	国支出金		9,036					補助率・充当率
		県支出金							国
		地方債							県
		その他							町
一般財源							その他		

事務事業評価シート【兼実施計画調書・地方創生事業調書】

事業コード	事業名	担当課:	保健福祉	担当係:	児童福祉
H27先行型6	子どもふれあい広場開設事業	地方創生事業			

計画 (PLAN)	基本目標	2. 健やかで人にやさしいまち	地方 創生 事業	基本目標	3. 結婚・出産・子育て				
	施策	子育て夢プロジェクト		基本目標の 数値目標	合計特殊出生率1.60				
	主要施策			当該事業の 数値目標 (KPI)	①施設利用者数400人 ②指導者登録数10人				
	実施主体	石川町		①自立性	②将来性	③地域性	④直接性	⑤結果重視	
	実施期間	H27～H31		○	○	○	○	○	
	事業目的・概要	本年9月末に廃校となる小学校(石川小学校)を、まちなかの賑わい創出の拠点施設として位置づけ、子どもふれあい遊び場広場、児童クラブ等の子育て支援機能と学習センター、図書館等の社会教育機能を含む複合的な施設として有効活用を図ることが計画され、平成28年度に改修の実施設計、平成29年度に改修工事を予定している							

実施 (DO)	事業内容 (実績)	<p>【子どもふれあい遊び場広場の設置及び運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未就学児向けの遊具を設置し屋内の遊び場(いしかわスキッズ広場)を提供した。H28.2/7～3/27までの日曜日 計8回 利用実績 保護者 98名 児童 153名 計251名</li> <li>・遊具を配置し、子ども遊び場を運営する。2,503,541</li> </ul> <p>【子育て支援団体の育成支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世代を含む女性の雇用の場を確保することを目的に、支援員やボランティアを対象とした研修会を実施。計3回実施162,000</li> </ul> <p>【子育て支援センター施設改修基本設計】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃校を改修し、子育て支援や生涯学習の機能を集約するため、施設改修の基本設計を実施。2,656,800</li> </ul> <p>【KPI実績: 施設利用者数: 251人】</p> <p>【KPI実績: 指導者登録数: 0人】</p>
------------	--------------	--

評価 (CHECK)・改善 (ACT)	貢献度	行政関与	住民ニーズ	長期計画	貢献度評価	総合 評価	見直改善	
		3 関与すべき	3 求められている	3 貢献している	やや高い			
	効率性	手段	コスト・効率化	受益者負担	効率性評価			
		2 検討する必要がある	2 改善できる余地がある	3 概ね適切である	やや良い			
	改善	課題	開催当初は利用者数が多かったが、遊具等の更新も無かったため開催回数が増えるにつれ利用者数が減少した。また、公共施設を借りて実施しており、他の行事がある場合は実施できない状況がある。					
		方策	現在検討している文教福祉複合施設への移転を視野に入れたなかでの事業運営方針を構築する。事業に対する周知、定期的な遊具の更新を図り、日曜日の開催に限らず祝日等でも開催するなど、恒常的な屋内遊び場の提供に努める。					
地方創生事業 数値目標・実績	項目名	合計特殊出生率1.60	H27	H28	H29	H30	H31	達成予測
地方創生事業 有識者意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今の子どもふれあい広場はあまり人が来ていないと感じる。魅力が薄いのでは。</li> <li>・いつ行っても開設しているような環境づくりが必要。</li> <li>・引き続き事業推進について努力されたい。</li> </ul>							

次期計画 【実施計画調書・地方創生事業調書】	事業内容 (予定)								
	年度	H26	H27	H28	H29	H30	合計(H28～H30)	補助金名	
	事業費		5,322						
	財源内訳	国支出金		5,322					補助率・充当率
		県支出金							国
		地方債							県
		その他							町
一般財源							その他		